

## 第2章 基本的な考え方（検討案）

### 第2章 基本的な考え方

新規

#### 1 基本理念

「青森県基本計画」が掲げる青森県のめざす姿の実現（2030年における『生活創造社会』の実現）を下支えするため、本県を取り巻く社会環境や課題、情報通信技術（ICT）の動向等を踏まえ、本県におけるICT利活用の基本的な姿勢を示すとともに、今後5年間のICT利活用に当たっての基本的な考え方と方向性を示します。併せて、同期間内で取り組むべき主な施策を示します。

#### 【基本理念】

青森県基本計画がめざす『生活創造社会(2030年)』の実現に向けて以下のようにICTが効果的に利活用されている社会（状態）をめざす

- 「安全・安心」な社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態
- 「経済を回す」取組が進む社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態
- 「官民協働」の取組が進む社会の実現に向けてICT（官民データ）が効果的に利活用されることにより電子行政化が進んでいる状態
- 上記3つの社会像を支えるICTの基盤の整備や人財の育成・確保の取組が進んでいる状態

#### 【青森県基本計画がめざす姿の具体像】

「生業(なりわい)」と「生活」の好循環

～「世界が認める「青森ブランド」の確立」～

#### 【「青森ブランド」の具体像】

～「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」の青森県～

○「青森ブランド」とは、県産品のブランド化だけではなく、主に次の内容で構成される多様な価値の総体を指す。

- ①地域資源や産品、地域特性を包括した青森県からイメージされる価値
- ②地域に根付いた文化を大事にしながら、仕事や余暇に充実した生活を送っている県民の生活感からイメージされる価値
- ③青森県の自然・歴史・文化・食を始めとする地域資源や産品、青森県産の製品、技術、サービスなどが有する価値
- ④青森県内の市町村や地域が有する価値
- ⑤青森県が提案した政策や地域の取組、文化・芸能・スポーツなどを始め、国内外の様々な分野で活躍する人財の価値

○「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」とは、具体的には、以下の3つの価値が世界から認知されている状態をめざすものである。

**買ってよし**（ビジネス対象としての価値）

産品の購入や進出・投資の対象となる価値を有する地域であること。

**訪れてよし**（観光・交流対象としての価値）

観光や交流、滞在の対象となる価値を有する地域であること。

**住んでよし**（生活対象としての価値）

住んで生活する対象となる価値を有する地域であること。

## 2 4つの基本方針及び施策の体系

### (1) 基本方針

本プランにおいては、「青森県基本計画」が掲げる「安全・安心、健康」、「産業・雇用」の2つの分野とともに、ICT全般の利活用と電子行政化の推進を担う「行政経営」、「基盤の整備、人財の育成・確保」を加えた4分野を基本方針の柱として、本県におけるICT利活用の拡大に向けた取組を推進します。

#### 【4つの基本方針】

##### ①「安全・安心、健康」を支えるICT

「安全・安心」な社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態をめざす。

##### ②「産業・雇用」を支えるICT

「経済を回す」取組が進む社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態をめざす。

##### ③行政経営を支えるICT（官民データ活用）

「官民協働」の取組が進む社会の実現に向けてICT（官民データ）が効果的に利活用されることにより電子行政化が進んでいる状態をめざす。

##### ④ICT利活用を支える基盤の整備、人財の育成・確保

ICTの基盤の整備や人財の育成・確保の取組が進んでいる状態をめざす。

なお、施策の立案にあたっては、本県の固有の課題や本県を取り巻く社会情勢等を意識しながら、それらの課題等の解決に効果的なICT利活用に向けた取組を展開します。

#### 【青森県の固有の課題・青森県を取り巻く社会情勢】

- 全国平均を上回るスピードで進行する人口減少への対応
- 労働力不足への対応（労働力確保・生産性向上）
- 2025年以降の超高齢化時代を見据えた対応
- 平均寿命の延伸への対応
- 経済のグローバル化の進展への対応
- 2020年 … ・「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」開催  
・「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録決定（想定）  
・東北新幹線新青森駅開業10年
- 2021年 … ・東日本大震災から10年  
・県政150周年
- 2025年 … ・「第80回国民スポーツ大会（現：国民体育大会）」本県開催

## (2) 施策の体系

### ①「安全・安心、健康」を支えるICT

「安全・安心」な社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態をめざす。

人口減少や少子高齢化による社会環境の変化など本県が抱える様々な課題の解決に向けて、保健・医療・福祉などの生活分野におけるICTの効果的な利活用を推進します。

#### 【ICTの利活用に向けた主な施策】

- ・ 健康・長生きで安心して暮らせる環境づくりの推進
- ・ 安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進
- ・ 自然との共生や低炭素・循環による持続可能な地域社会づくりの推進
- ・ 安全・安心で快適に暮らせる生活環境づくりの推進

### ②「産業・雇用」を支えるICT

「経済を回す」取組が進む社会の実現に向けてICTが効果的に利活用されている状態をめざす。

IoTやAI、5Gなど「第4次産業革命」の技術革新を的確に捉え、本県の基幹産業である農林水産業をはじめ、観光や各種サービス業などの産業分野におけるICTの効果的な利活用やICT関連産業の振興を進めることにより、生産性向上や高品質化、労働力不足等の課題解決に向けた取組を推進します。

#### 【ICTの利活用に向けた主な施策】

- ・ 消費動向を見据えた販売戦略の展開
- ・ 魅力あるコンテンツづくりと戦略的な情報発信の推進
- ・ 誘客促進のための受入環境の整備
- ・ 地域資源を生かした産業の創出・育成・継承の推進
- ・ 働きやすさや収益性を高める生産性向上対策の強化

### ③行政経営を支えるICT（官民データ活用）

「官民協働」の取組が進む社会の実現に向けてICT（官民データ）が効果的に利活用されることにより電子行政化が進んでいる状態をめざす。

「官民データ活用推進基本法」における自治体関連の基本的施策等を踏まえ、県民が利便性を実感できる電子行政化を推進します。

#### 【ICTの利活用に向けた主な施策】

- ・ 庁内情報システムの全体最適化の促進
- ・ 行政手続におけるICT利用の促進（オンライン化原則）
- ・ 官民データの容易な利用の促進（オープンデータの推進）
- ・ 個人番号カードの普及・利活用の促進（マイナンバーカード普及・活用）
- ・ 利用の機会等の格差是正（デジタルデバイド対策等）
- ・ 規格の整備及び互換性の確保（システム改革、BPR、自治体クラウド）

#### ④ ICT利活用を支える基盤の整備、人財の育成・確保

ICTの基盤の整備や人財の育成・確保の取組が進んでいる状態をめざす。

ICT利活用の基盤であるICTインフラや人財の育成・確保を推進します。

#### 【ICTの利活用に向けた主な施策】

- 教育現場を支える情報通信基盤の整備
- 県民の生活を支える情報通信基盤の整備
- 情報セキュリティ対策の強化
- あおもりの未来をつくる人財の育成
- あおもりの今をつくる人財の育成